



雪に包まれた海老名市内

2月8日と14日に降った記録的な大雪。市内でも交通の混乱などが発生しました。



①雪で覆われた水と花と緑のこみち(14日)
 ②北部公園前の様子(8日)
 ③かっぱも雪化粧。通称かっぱ橋にて(8日)
 ④雪のまちを見つめる鳥たち(14日)



3歳のえび〜にゃ みんなが祝福

2月2日、市のキャラクター「えび〜にゃ」のお誕生日パーティーを海老名中央公園で開きました。会場にはお友達のキャラクターたちも登場。市民やキャラクターファン約2400人から拍手を浴び、覚えたてのダンスを初披露したえび〜にゃは、「予想以上にたくさんの人たちが来てくれてうれしい! どうもありがとう」と感想を。



避難所運営 女性の立場考慮して

「男女で異なる災害時の困難・あたらしい時代の避難所運営」をテーマに、1月18日、えびな市民活動センター交流館で防災講演会を開催。講師の東日本大震災女性支援ネットワーク運営委員の浅野幸子さんは、男性が中心になりがちな避難所運営に女性の視点を取り入れるよう講演。約200人の参加者は熱心に聞き入っていました。



寒風によって 自作の凧が大空に

1月26日、県立相模三川公園で行われた「えびな凧揚げまつり」。41組の家族が「凧作り教室」で作った90超四方の相模凧を持ち寄ったほか、大凧、ビニール凧などさまざまな大きさの凧が集まりました。寒風が吹き始めると、参加者たちは協力しながら凧を大空高く揚げ、寒さをもとめず歓声を上げていました。



熱い勝負が続出 えびな郷土かるた大会

3人でチームを組み、かるたを取り合った「櫻杯争奪えびな郷土かるた大会」。2月2日、北部公園体育館で、41チーム123人が好勝負を繰り広げました。会場は、目の前にある札を相手に取られて悔しがる子や勝利の歓声を上げる子たちで熱くなりました。優勝は、さつきの部が、チームみつば、大ケヤキの部が、チーム613。



豆腐を食べて 受験合格を

高校受験を応援するため、今里の豆腐製造業「南富塚商事」が、1月24日、市立中学校の3年生1168人に「合格祈願豆腐」を贈りました。津久井在来の豆を使用したこの豆腐は、秦野市の神社で合格祈願を受けたもので、富塚社長から豆腐を受け取った3年生からは、「早速食べて、絶対に合格します」との声が。

